

## 第5回 京都市地域コミュニティ活性化に関する懇話会摘録

- 1 開催日時 平成21年12月7日(月) 午後7時~午後9時
- 2 会場 職員会館かもがわ 3階 大多目的室
- 3 傍聴者数 4名
- 4 内 要

### (1) 提言作成に向けた検討について

#### ア 乾亨座長から、提言作成の目的、今後の進め方等について提案

- ・ 提言の目的は、地域コミュニティ活性化に取り組まれている方等へのメッセージ 市に対して、地域をバックアップできる仕組みや制度についての助言 となる
- ・ 本日提案する「提言の構成について(案)」については、あえて大きな項目しか示していない。この項目にこれまでの議論を整理して入れ込み、提言を作成していく。作成にあたっては、少人数の編集委員会を立ち上げたい。

#### イ 提言に盛り込むべき内容についての意見交換

##### 高橋肇子委員(京都市地域女性連合会常任委員)

- ・ これまで参加させていただいた懇話会等では、事務局がすでに提言の骨子案を作成され、最初から方向づけられていることが多かった。自由に意見が言える場を作っていただき感謝している。

##### 西岡正子副座長(佛敎大学四條センター所長)

- ・ コミュニティ活性化のためのヒント集は必要であり、具体的で役に立つものにしたい。
- ・ 地域団体と関わりを持ちたくても、現状が分からないことがある。町内会、自治会や各種団体の活動が分かるような情報発信が必要ではないか。

##### 林田静委員(市民委員(一般))

- ・ 同一地域で同じ目的を持って活動している団体同士が、組織が違うために力を合わせることが出来ないことがある。行政がコーディネートすることは出来ないか。

##### 山本安一委員(各區市政協力委員連絡協議会代表者会議副幹事)

- ・ 交通関係の団体同士にも同じことが言えるのではないか。

##### 宮崎健次委員(城巽自治連合会会長)

- ・ 地域活動においては、リーダーの育成が重要であると感じている。

##### 乾座長

- ・ 例えば、地域において活動している団体の活動内容等について一覧表にまとめる等、リスト化してみてもどうか。

##### 大橋定雄委員(NPO法人京滋マンション管理対策協議会副代表幹事)

- ・ マンションは、自治意識を持たなければスラム化する傾向にある。我々の組織では、100戸以上のマンションについては、管理組合とは別に自治会組織を結成、100戸以下については周辺の自治会組織に加入し、組長として役員を出すことを一定の基準としているが、住民の高齢化が進み、役員を出すことが困難になってきている等の課題がある。

関谷有香委員（市民委員（学生））

- ・ 学生マンションに居住しているが、行政からのパンフレット等が読まれずに捨ててあることが多い。ニーズに応じ、必要な情報を掲載する等、捨てられない工夫をすることが必要ではないか。

宮崎委員

- ・ マンション建設時に地域の代表者と対話することを義務付ける条例が制定できないか。

市橋尚委員（京都府建設業協会京都支部常任理事）

- ・ 事業者として、自治会等に建設計画の概要を説明する際に、建物の高さやプライバシーの確保、工事車両の通行等に関する質問はあるが、地域のコミュニティに関する質問はないことが多い。自治会長向けに、事業者に質問する内容のマニュアルを作成すればいいのではないか。

乾座長

- ・ マンション事業者から、入居者に対して、地域のコミュニティとのつながりの状況を説明するようなルールづくりは議論の必要がある。また、地域もマンション事業者等と話し合いがきちんとできる力量が求められる。マンション建設時の窓口は近隣の町内会であるが、学区ぐるみで話し合うことができないか。

山本委員

- ・ マンション事業者は、学区連合会等と話し合うようにしてほしい。

青島廣高委員（京都市立中学校PTA連絡協議会役員）

- ・ マンション居住者に対し「地域力を上げることは資産力を上げることにつながる」というような提言が出来ればいいと思う。

深尾昌峰副座長（きょうとNPOセンター常務理事・事務局長）

- ・ 形骸化した活動ばかりでは疲れてしまう。新しい住民のニーズの取り入れ方等、地域のニーズの把握方法を事例を通して提案できればいいと思う。

荒木陽子委員（東山区長）

- ・ 「子どもに関すること」や「高齢者に関すること」等、ジャンルごとに学区の団体や活動を紹介するチラシ等を配布できれば、地域の団体に関わるきっかけを作ることができるのではと思う。

青島委員

- ・ PTA活動を通じて、「学校のため、子どものため」という目的の持つ力は大きいと感じている。PTA活動終了後も地域活動に関わり続けていただき、地域の力をつけていくことが大切である。

## (2) 今後の進め方について

- ・ 編集会議により提言作成作業を進める。（今後2～3回開催する予定）  
（構成：乾座長，西岡副座長，深尾副座長，青島委員，大橋委員，高橋委員，関谷委員），その他の懇話会委員も随時参加できることとした。
- ・ 2月頃に第6回の懇話会を開催し，提言内容を固める。
- ・ 提言の内容を周知するため，3月にシンポジウムを開催する。